

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	産業用地整備事業(経塚原)	会計	一般会計	事業No.	559	施策順No.	12-032	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-12-6			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	土木課			
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	20	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	歩行者及び通過車両						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		歩行者数:人/日		50				
		自動車交通量:台/日		800				
意図	歩車道を分離することにより、安全が確保される。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	進捗率: % (当年度までの実施済額/全体事業費×100)		83	100	100	100		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	事業が完了し、目標が達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	歩車道分離がされておらず、公園利用者及び通学等道路利用者に危険が生じている。歩道を設置し歩行者の安全、交通の円滑化を図る。経塚原産業団地へ通じる道路であり、誘致企業の車両が多く通過するため、円滑な交通確保を図る。 市道伊賀良596号線 歩道整備 L=325m W=9.25m(片歩道2.0m) 市道伊賀良611号線 道路改良 L=445m W=7.0m 市道2-27号白井線 道路改良 L=100m、W=5.5m 運動公園整備事業 駐車場造成・公園改修・植栽・外灯移設・トイレ新築1棟		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 幹線道路改良事業 道路改良工事 2-27号下中村白井線(21年度繰越分) 2 幹線道路改良事業 道路改良工事 2-27号下中村白井線	1 施工延長 2 施工延長	1 L=185.4m 2 L=147.3m
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金			特定財源内訳、補足事項 (地)合併特例(充当率95%) 21→22繰越明許費15,664千円	
		県支出金				
		起債	14,800	14,800		
		その他	864	864		
		一般財源	8,660	8,660		
		計(A)	24,324	24,324		0
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B		24,324			

4 事業に対する市民や議会の意見

市民や議会からも企業誘致や新たな産業用地の確保に重点を置いており、そのアクセス道路改良に対する要望が強い。運動公園の混雑時に駐車場不足や渋滞に対する改善要望がある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が便利で安全に移動ができる。	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	歩車道分離がされておらず、公園利用者及び通学等道路利用者に危険が生じていたが、歩道を設置したことにより歩行者の安全、交通の円滑化を図られた。 経塚原産業団地へ通じる道路であり、誘致企業の車両が多く通過するため、改良工事により、円滑な交通確保が図られた。		
	後期に向けた課題	特になし。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法の検討を行い、同等の性能だ安価な工法を選択した。		
	後期に向けた課題	特になし。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	歩車道分離がされておらず、公園利用者及び通学等道路利用者に危険が生じていたが、歩道を設置したことにより歩行者の安全、交通の円滑化を図られた。 経塚原産業団地へ通じる道路であり、誘致企業の車両が多く通過するため、改良工事により、円滑な交通確保が図られた。		
	後期に向けた課題	特になし。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------